

2015年 合格目標

カリキュラムの流れ

中上級コース、早稲田合格答練とともに、しっかり土台を固めた上で得てきた知識を合格力へと昇華させるカリキュラム体系となっています。もちろん、必要に応じて単科で受講することも可能です。

中上級コース

早稲田合格答練

全問新作問題

[2014年8月・9月・10月・11月] [2015年1月] [2月] [3月] [4月] [5月] [6月] [7月]

8月開講 **択一式対策講座【理論編】** [全62回] [講義]

知識の核となる条文、判例の趣旨から徹底的に学び直し、得点力アップの土台を固め

特色

- 徹底した択一式過去問分析に基づき導き出した出題が予想される論点(条文、判例および先例等)について、その結論だけでなく、その趣旨や理論を丁寧に押さえていくことができます。
- 過去問で出題された論点の形を変えて出題された場合にも十分な対応が可能になります。
- 次のステップである択一式対策講座【実践編】でアウトプットすることにより、より確実な論点の理解が可能になります。

講義形式

[全62回](3時間/各回)

- テキストを使用して講義を実施
- (民法15回、不動産登記法15回、商法・商業登記法16回、民訴等8回、供託法・司法書士法4回、憲法・刑法4回)

ここがPOINT!

平成27年度司法書士試験において出題される可能性がある論点を網羅的に扱います。そのため一般的な中上級講座と異なり、論点を機動的に整理することができ、「押さえておくべき論点に漏れがない状態」で本試験に臨めます。

※自宅復習用の「トレーニング(講義復習用問題集)」で講義該当箇所を自宅確認

2月開講 **択一式対策講座【実践編】** [全33回] 演習+解説講義

短時間で大量の問題を解き、正確な知識を確立して、解答のスピード力をアップする!

特色

- 「一問一答編」では、講義冒頭の限られた時間内に一問一答形式の問題を大量に演習。その後ポイントを絞った解説を提示することにより、論点の定着を確実にしていきます。
- 「5択択一式編」では、司法書士試験と同じ形式である5択択一式問題を短時間で解き、その後当該問題を解くために習得しておくべき論点について解説を行います。

演習・講義形式

[全33回]

- 問題・解説冊子を使用
- 一問一答編
- 問題演習(30分)→解説講義(2時間30分)
- 5択択一式編
- 問題演習2分→解説講義8分 の繰り返し

ここがPOINT!

使用するレジュメには、図表が豊富に用いられており、復習時の論点の整理に役立つと同時に、直前期における情報集約ツールとしても使用することができます。また、解説ではより短時間で確実に正解を導くための合理的な解決テクニックも解説します。

9月開講 **弱点克服講座《民訴・民執・民保・供託・書士法》** [全16回]

民訴等科目に苦手意識のある方におすすめ!

特色

- 実務家でもある小山講師が実際に扱った事例を用いた講義のため、イメージがしやすく、知識が定着しやすいのが特長です。
- 民訴等科目および供託・書士法だけでなく、民法、不動産登記法の関連知識にも言及します。
- 毎年受講生から好評の「復習シート」で、徹底して復習できます。

講義形式

[全16回](3時間/各回)

- テキスト(オリジナルレジュメ)を使用して講義を実施(民訴8回、民執3回、民保2回、供託2回、書士法1回)

ここがPOINT!

当講座は民訴等科目の正しい思考方法を提供・養成します。そのため、受験歴が長く心機一転を図りたい方や、民訴等科目について不安のある方や苦手意識のある方、民訴等科目の基礎知識がない方に特におすすめです。また、合格後、認定司法書士として活躍したい方の受講もおすすめです。

2月開講 **記述式対策講座** [全24回] 講義・演習+解説講義

記述式問題の解法から論点理解、答案作成までの全てを凝縮! 本試験記述式対策はこれで万全!

特色

- 本試験の記述式において求められる、「問題文から論点を読み取る能力」を養います。
- 平成27年度本試験で問われるであろう論点を確実に押さえていきます。
- 記述式試験で問われるほぼ全ての論点を網羅することができます。
- 「実践総合編」ではより本試験に近い形の問題を解きます。

演習・講義形式

[全24回](3時間/各回)

- テキスト、問題冊子等を使用
- 理論編(講義形式):10回(不動産登記法・商業登記法 各5回)
- 実践編(演習形式):10回(不動産登記法・商業登記法 各5回)
- 実践総合編(演習形式):4回(不動産登記法・商業登記法 各2回)

ここがPOINT!

「論点」の理解は記述式に限って必要なものではありません。むしろ、択一式で問われる論点が、記述式においても問われます。本講座は、記述式はもちろん、択一式の知識整理にも役立つ「総合的な試験対策講座」となっています。

年内に基本論点を確実に押さえる!

10月開講 **年内重要論点答練** [全10回]

年内に基本論点を確実に押さえる!

特色

- 本試験時の実力レベルを下げない年内のトレーニングとして、また年内中に弱点の克服をしたい方に最適です。
- 択一式科目の重要論点を網羅。年内から合格に必要な基礎力強化が図れます。
- 科目別答練(範囲指定)なので、予習・復習がしやすく基礎知識の整理に最適です。

出題数

[各回(択一式)20問] ▶ 択一式:全200問
[記述式]2問] ▶ 記述式:全20問

基準点突破のための知識の土台を作る!

1月開講 **ホップ答練** [全6回]

頻出の基礎論点を確実に押さえる!

特色

- 近年の過去問を分析し、出題頻度が高く、確実に解答できなければならない基礎的な問題を中心に出題します。
- 各回、あらかじめ指定された範囲から出題。予習が可能のため、初めて答練を受ける方にも最適な答練です。
- 体系的に基礎知識の整理をすることができます。

出題数

[各回(択一式)35問] ▶ 択一式:全210問
[記述式]2問] ▶ 記述式:全12問

知識をさらにブラッシュアップ!

2月開講 **ステップ答練** [全6回]

応用問題で推論対策も万全!

特色

- 頻出論点について、推論問題など形式の異なった問題を出題。
- 平成27年度本試験で新たに必要になると思われる論点や知識を数多く出題。基本問題に加え、新傾向の問題にも対応できる力を身につけることができます。
- 出題の範囲指定はせず、総合問題を出題します。本試験に適用する総合力を身につけます。

出題数

[各回(択一式)35問] ▶ 択一式:全210問
[記述式]2問] ▶ 記述式:全12問

直前前に自己の弱点を把握!

4月上旬 **全国公開模試 第1回**

会場受験
自宅受験

出題可能性のある、あらゆる問題をバランスよく出題!

4月開講 **ジャンプ答練** [全8回]

本試験レベルの実戦力を養成!

特色

- 最新情報を盛り込んだ本試験で出題可能性のある、あらゆる問題をバランスよく出題します。
- 記述式問題も毎回2問出題します。
- より本試験に近い状態で時間配分のシミュレーションが可能です。
- 同時期に行なわれる「全国公開模試」と組合せれば、合格するための実戦力がさらに身につきます。
- 正確で速い答案作成能力を訓練することを目的としています。

出題数

[各回(択一式)35問] ▶ 択一式:全280問
[記述式]2問] ▶ 記述式:全16問

全国各地で大規模に開催! 本試験シミュレーション!

6月下旬 **全国公開模試 第3回**

会場受験
自宅受験

組み合わせるとさらに効果的!

9月開講 **登記法Skill Up講座** [全15回]

不動産登記法、商業登記法を徹底強化! 答練とは異なる演習→講義形式で記述式のスキルを磨く!

特色

- 司法書士試験の主要科目である、不動産登記法、商業登記法の択一式重要論点を確認するとともに、記述式問題の解法につなげ、基礎力を強化。
- 演習→講義を通して、記述式の基礎力をつけるとともに、基礎→応用→発展の3段階で実践力をスキルアップ。

演習・講義形式

▶全15回 不動産登記法(全7回)、商業登記法(全7回)、総合演習(全1回)

こんな方にオススメ!

記述式の基礎力をつけたい方、
記述式で点数をとれるようになりたい方、
とにかく記述式を克服したい方に
オススメです!

5月上旬 **全国公開模試 第2回**

会場受験
自宅受験

全国公開模試解説講座 [全3回]

全国公開模試を徹底活用する!

開催日 第1回:4月~ 第2回:5月~ 第3回:6月~

平成27年度 司法書士筆記試験

※解説講義は「解説講義あり」をお申込みの方にご受講いただけます。 ※ジャンプ答練・全国公開模試・全国公開模試解説講座は、15年1月下旬頃発行予定の案内書をご覧ください。